Coupa は、アプリケーション内でフラット ファイルのインポートとダウンロードルーチンをネイティブにサポートし、自動化された統合を使用して 1 つのトランザクションで多数のレコードを読み込みます。Coupa が独自の統合を構築したくないお客様に提供する統合サービスの一環として、お客様が高品質を迅速に取得できる一般的な Coupa ビジネス オブジェクト用の一般的なフラット ファイル形式を作成しました統合が迅速に実行されます。

Coupa には、Coupa の参照データとトランザクション データ要素の CSV インポートおよびダウンロード ルーチンがあります。この機能により、トランザクションを手動でダウンロードして外部システムにアップロードできます。

## はじめ

概要

システム インテグレーターと統合管理者は、ユーザー、サプライヤー、アイテム、ERP 会計、アカウント コード、為替レートなどのレコードを同期および転送するために、Coupa とサードパーティシステムの間で渡される共通のフラット ファイル形式 (CSV および ZIP) を使用して、体系的な更新を開発できます。ファイル転送の方法とタイミングについては、[統合スケジュール](https://success.coupa.com/Integrate/Technical_Documentation/CSV/Getting_Started/Integration_Schedules_and_File_Names)とファイル名を参照してください。

この共通形式を使用して Coupa にデータを取り込み、および Coupa からデータを取り出す方法について詳しく説明します。インポートとエクスポートの両方でカスタム フィールドを処理する方法についても説明します。

インポート (CSV からクーパへのデータ)

CSV ファイルのカスタム フィールドと値を使用すると、Coupa のカスタム フィールドにデータを転送したり読み込むことができます。これらは、個々の顧客の統合構成でカスタマイズできます。受信ファイルの場合、カスタム フィールドの列名は、Coupa のユーザー設定フィールドの英語ロケールの 「プロンプト名」にする必要があります。インスタンスのカスタム フィールドにマップされていないユーザー設定フィールドは、ファイルから除外する必要があります。

エクスポート (クーパから CSV へのデータ)

エクスポートされた CSV ファイルのカスタム フィールドを使用すると、送信 CSV ファイルに追加データを含める必要があります。CSV のカスタム フィールドの主な用途は、Coupa のカスタム フィールドからデータを取得することですが、既定の出力形式に含まれていない関連オブジェクトからデータを取得するためにも使用できます。

## 統合スケジュールとファイル名

統合スケジュール

Coupa の標準統合はポーリング スケジュールで実行されます。つまり、Coupa は、ターゲット システムを定期的に問い合わせて、データを統合する必要があるかどうかを判断します。ポーリング スケジュールの頻度は、ビジネス オブジェクトごとに制御できます。

スケジュール - 頻度

通常、マスタデータまたは参照データは日単位で統合され、トランザクションデータは時間単位で統合されます。Coupa (またはパートナー) 統合技術チームと協力して、各ビジネスオブジェクトに適切な頻度を決定できます。

スケジュール - 時間

統合によって生成される追加のシステム負荷の影響を最小限に抑えるために、毎日同期されるデータを「非ピーク」時間(例えば午前4時)に実行することをお勧めします。

| ビジネス オブジェクト | プライマリシステム | 同期システム | 統合の頻度 |
| --- | --- | --- | --- |
| ユーザー | 人事制度 | カット | 毎日 |
| アカウント コード | 金融システム | カット | 毎日 |
| サプライヤー | 金融システム | カット | 毎日 |
| 依頼 | カット | 金融システム | 時間 |
| 発注書 | カット | 金融システム | 時間 |
| 発注書のリビジョン | カット | 金融システム | 時間 |
| 請求 書 | カット | 金融システム | 時間 |
| 請求書の無効/クレジットメモ | カット | 金融システム | 時間 |
| 請求書支払 | 金融システム | カット | 時間 |
| 為替レート | 金融システム | カット | 毎日 |
| 予算ライン情報 | 金融システム | カット | 毎日 |
| 経費明細行 | 金融システム | カット | 時間 |

ファイル名

統合の方法によっては、特定のファイル形式が必要になる場合があります。データをファイルに保存する際には、統合を合理化するために、お客様に使用を推奨する特定のファイル形式があります。

実装マネージャーは、これらの形式を提供できます。ファイルの形式に加えて、Coupaから生成されたファイルやお客様から必要なファイルに対する特定の命名規則もあります。

これらのファイル名については、以下の表を参照してください、ファイルが互いに上書きされないように、日付のタイムスタンプをメモしてください。受信ファイルの命名規則は、お客様が独自の規則に従って変更することができ、Coupaにはインバウンドファイル命名規則に制限はありません。COUPA からの送信ファイルは、以下の形式でのみ送信されます。ファイル形式名を変更する必要がある場合は、次の表に記入してください。

| ビジネス オブジェクト | ファイル名 | クーパとの間 |
| --- | --- | --- |
| ユーザー | users\_<YYYYMMDD\_HHMMSSZ>.<ファイル形式> | クーパへ |
| アカウント コード | accounts\_<YYYYMMDD\_HHMMSSZ>.<ファイル形式> | クーパへ |
| サプライヤー | suppliers\_<YYYYMMDD\_HHMMSSZ>.<ファイル形式> | クーパへ |
| 依頼 | RequisitionHeader\_<YYYYMMDD\_HHMMSSZ>.<ファイル形式> | クーパから |
| 発注書 | OrderHeader\_<YYYYMMDD\_HHMMSSZ>.<ファイル形式> | クーパから |
| 発注書のリビジョン | OrderHeader\_<YYYYMMDD\_HHMMSSZ>.<ファイル形式> | クーパから |
| 請求 書 | InvoiceHeader\_<YYYYMMDD\_HHMMSSZ>.<ファイル形式> | クーパから |
| 請求書支払 | payments\_<YYYYMMDD\_HHMMSSZ>.<ファイル形式> | クーパへ |
| 為替レート | fx\_rates\_<YYYYMMDD\_HHMMSSZ>.<ファイル形式> | クーパへ |
| 予算ライン情報 | budget\_lines\_<YYYYMMDD\_HHMMSSZ>.<ファイル形式> | クーパへ |
| 費用 | ExpenseReport\_<YYYYMMDD\_HHMMSSZ>.<ファイル形式> | クーパから |
| 在庫トランザクションまたは入庫 | Inventory\_<YYYYMMDD\_HHMMSSZ>.<ファイル形式> | クーパから |

## SFTP の概要

## 概要

Coupa は、主に SFTP プロトコルを介して顧客とファイルを交換します。ユーザー名/パスワード認証または SSH キー認証の両方をサポートしています。SFTP は、制御チャネルとデータ チャネルの両方が暗号化されるため、FTP よりも望ましい方法です。

## 標準フォルダ形式

### /発信

* /出金/経費報告書
* /送信/請求書
* /送信/購買注文
* /発信/領収書
* /発信/要求
* /発信/サプライヤー
* /発信/サプライヤー情報

### /着信

* /受信/アカウント
* /受信/アカウントの検証ルール
* /着信/アドレス
* /着信/承認チェーン
* /着信/予算ライン
* /着信/ビジネスグループ
* /着信/コモディティ
* /着信/契約
* /着信/部門
* /着信/為替レート
* /入金/経費支払い
* /着信/請求書支払い
* /入荷/請求書
* /受信/アイテム
* /受信/ルックアップ値
* /入荷/領収書
* /受信/レミトアドレス
* /着信/要求
* /着信/サプライヤー
* /着信/ユーザー

### /アーカイブ

* /アーカイブ/着信/
* /アーカイブ/着信/アカウント
* /アーカイブ/着信/アカウント検証ルール
* /アーカイブ/着信/アドレス
* /アーカイブ/着信/承認チェーン
* /アーカイブ/着信/予算ライン
* /アーカイブ/着信/ビジネスグループ
* /アーカイブ/着信/商品
* /アーカイブ/着信/契約
* /アーカイブ/着信/部門
* /アーカイブ/着信/為替レート
* /アーカイブ/着信/経費支払い
* /アーカイブ/着信/請求書支払い
* /アーカイブ/着信/請求書
* /アーカイブ/着信/アイテム
* /アーカイブ/受信/ルックアップ値
* /アーカイブ/受信/領収書
* /アーカイブ/着信/レミトアドレス
* /アーカイブ/着信/要求
* /アーカイブ/着信/サプライヤー
* /アーカイブ/着信/ユーザー

## フラット ファイル形式の使用

概要

Coupa の共通フラット ファイル テンプレートは、Coupa に送信される 1 つのファイルから多数のレコードをインポートするように設計されており、各レコードを含む大量のファイルを処理するようには設計されていません。一度に 1 つのレコードを処理する必要がある統合の場合、Coupa API には、このタイプのワークフローを容易にするための RESTful インターフェイスが用意されています。

Coupa には、差分ファイル、または、最後に統合が実行されてから作成、変更、または更新が必要なレコードのみを含むファイルが必要です。より大きなボリューム、非デルタデータのロードは、カスタム統合として処理を必要とするかもしれません。この要件について Coupa 実装マネージャーと相談し、追加の時間やコストが必要かどうかを判断してください。

Coupa のリリースでは、新しいオブジェクトや新しい属性を導入するに伴い、フラット ファイル形式に新しいフィールドを追加する可能性があります。したがって、クーパフラットファイルを使用するためにあなたの側の統合ルーチンを設計する際に、これを考慮することをお勧めします。

CSV の規則

当社の統合CSVファイルは*、RFC* 4180から取られた次の規則を使用します。

* 区切り文字は**カンマです:**
* すべてのフィールドは**、常に**二重引用符で修飾されたテキスト (囲まれた) です。 **"**
* フィールド内の二重引用符文字は、別の二重引用符文字によってエスケープされます。ユーザーがコメント フィールドに***"****緑****" と***入力した場合、"Status" は***""****緑****"****と*表示されます。
* 修飾フィールド値内で改行文字を使用できます。

テキストエンコーディング: UTF-8 (バイトオーダーマーカーなし(BOM))